

## 2024年度

## 奥州市立岩谷堂放課後児童クラブ 自己評価総括表

地域社会における放課後児童健全育成事業として、その事業運営や育成内容について、自らの育成の実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や育成における実践の改善に努め、より一層質の高い育成の実践を目指してまいります。

評価方法		
全職員の自己評価	評価期間	2025年1月23日（木）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
施設の評価	評価日	2025年2月13日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
総則	職員研修等での読み合わせを通して、「放課後児童クラブ運営指針」における指針策定の趣旨および放課後児童クラブの育成基本、また当社の育成支援理念を理解に努めた。今後は、より理解を深めていく必要がある。
職員の資質向上	放課後児童クラブの社会的責任や職場倫理を理解し、法令や委託仕様書等を遵守するとともに、職員自らの資質向上に努めていける環境を整備していきたい。
事業の対象となる子どもの発達	子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、その発達段階に応じた主体的な遊びや生活を支援できるよう、創意工夫しながら生活環境の構築を行っている。
放課後児童クラブにおける育成支援の内容	子どもにはもちろんのこと、保護者とも協力関係・信頼関係を築くことが出来るよう、お迎え時に生活の様子等を伝え、情報共有している。今後もおたよりやホームページを活用し活動内容等を発信していく。
学校及び地域との関係	学校や関係機関に協力を得ながら連携を図っている。今後は、より具体的な内容を共有し助言・連携を図りながら、学校や地域との信頼関係を構築していきたい。
施設及び設備、衛生管理及び安全対策	各種研修や避難訓練等の実施、また各種チェックシートを用いて、日常の危機管理・衛生管理を適切に実施できるようにしている。
放課後児童クラブの運営	自治体実施要綱および設備運営基準に則った健全な拠点運営ができるよう、責任者として本社・支部と協力しながら管理を行っている。

総評
子どもたちが主体的に活動出来るよう、子どもたちの状況を鑑み、職員全体で遊びや生活等の構築において創意工夫に努めた。その結果、子どもたちが主体的にいきいきと遊んでいる姿が多く見られた。配慮が必要な子どもにおいては、遊びや生活のルールを丁寧に伝えていながら今後も関わっていく必要がある。次年度に向けては、「放課後児童クラブ運営指針」について職員一人一人がより理解を深め、日々の実践に活かしていきたい。また、保護者や学校との連携をより深め、子どもたちや保護者が安心して放課後児童クラブを利用することができるよう努めていきたい。